

【XMLコンソーシアムWeek 道路交通情報Webサービス実証実験Day】

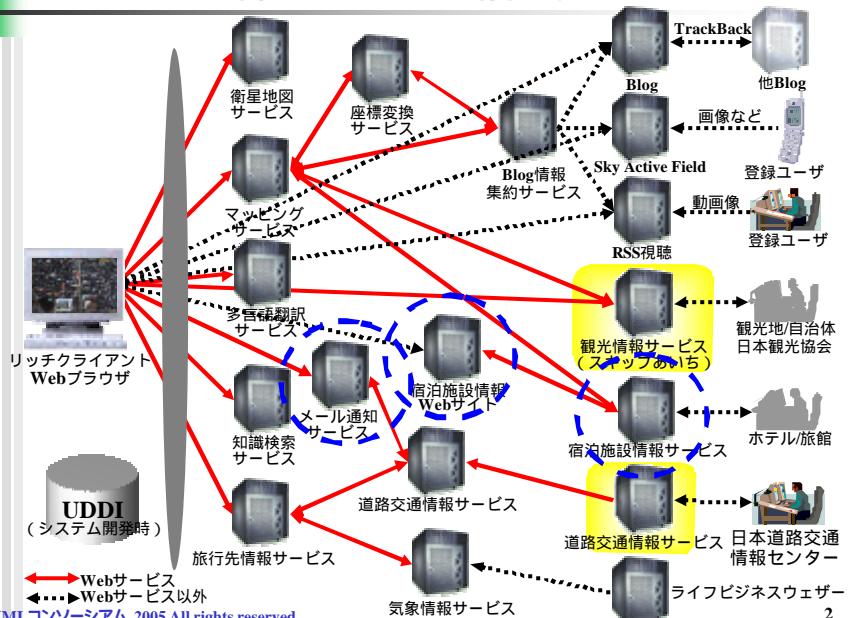
宿泊施設情報Webサービス メール通知Webサービス

2005年6月10日
長谷川 順一
(株式会社ブレイニーワークス)



Copyright © XMLコンソーシアム 2005 All rights reserved.

全体システム構成



Copyright © XMLコンソーシアム 2005 All rights reserved.

システム概要 (開発、本番環境)



	開発環境	稼働環境
OS	WindowsXP	FedoraCore2
開発言語	Java2 SDK 1.4.2_4	Java2 SDK 1.4.2_4
Webサーバ	-	Apache2.0
アプリケーションサーバ	Tomcat4.1.24	Tomcat4.1.24
Webサービス	Axis1.2R3	Axis1.2R3
データベース	MySQL 4.0.18	MySQL 4.1
メールサーバ	-	Postfix 2.0.18

・Webサービスには当時最新のAxis1.2R3を使用

開発環境ではWindowsXPを使用し、本番環境ではFedoraCore2にて稼動

Javaの開発環境はEclipse3.0を使用

宿泊施設情報はリッチクライアントであるFlashを採用し、開発環境はMacromedia Flash MX 2004を使用

システム概要 (宿泊施設情報Webサービス)

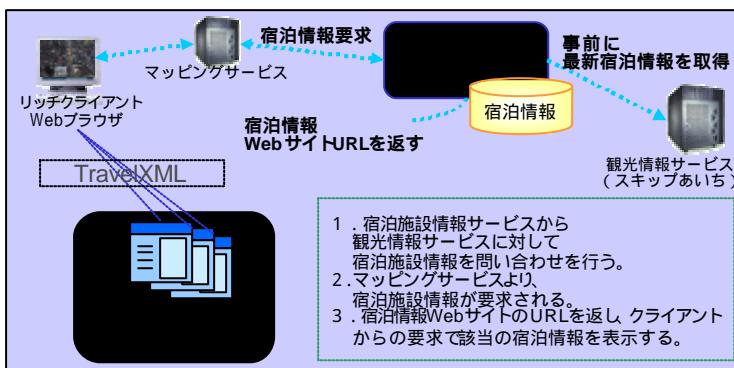


機能概要

スキップあいちのサービスから情報取得を行い、マッピングサービスからの要求にあつた宿泊施設情報を提供する

特徴

(社)日本旅行業協会とXMLコンソーシアムが共同で開発を進めている旅行業界における旅行商品取引の標準規格TravelXMLに準拠



XML
Consortium

システム概要 (宿泊施設情報Webサービス)

宿泊施設情報Webサイト

宿泊情報 Webサービス

近距離宿泊情報 Webサービス

宿泊情報 Webサイト

- ・クライアント(FLASH)より直接Webサービスを呼び出す
- ・近距離に存在する宿泊施設情報を検索できるWebサービスも提供
- ・宿泊施設情報にはTravelXMLの宿泊施設編の基本情報を使用

Copyright © XMLコンソーシアム 2005 All rights reserved.

5

XML
Consortium

システム概要 (メール通知サービス)

機能概要

道路交通情報サービスと連携し、所要時間の計算を行い、出発時刻の通知を行う。

特徴

リアルタイムで更新される道路交通情報を元にして、より正確な出発時刻のメール通知が出来る。

メール送信依頼

リッチクライアント Webブラウザ

所要時間の算出
到着予定時刻の算出

到着予定時刻・所要時間をもとに、メール送信

- 1. リッチクライアントからメール通知要求 (出発地・到着地の座標、到着希望時刻等)
- 2. 道路交通情報より、所要時間と現在の時刻に出発した場合の到着予定時刻の算出結果を取得する。
- 3. ユーザに対して、到着希望時間に到着できるようにメール通知を行う。

Copyright © XMLコンソーシアム 2005 All rights reserved.

6



苦労した点

Axis1.2を使用したが、Axis1.1と挙動が違い接続テスト時に時間がかかった
(WSDLの解釈、再ディプロイするとクライアントの挙動が変わる)
正式リリース版ではなかったので、事前に調査すべきであった

まとめ

FLASHによるWebサービスクライアントを初めて実装したが、
リッチクライアントとしての利用価値を認識できた

他のシステムとの連携は以前までの実証実験と比較するとスムーズに行う事ができた

Webサービス自体が標準的な技術として定着してきている